

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	青少年活動育成支援事業	コード	102302
-------	-------------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課	作成者 高山 理恵
--------	--------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	生涯学習の推進	施 策	青少年の健全育成
		予算科目	青少年活動育成支援事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	青少年の健全育成のため、関係団体との連携、協調を図り、青少年が心身ともにたくましく成長するよう、野外活動や体験活動を実施する。	
目的	対象者	青少年、関係機関、関係団体
	意 図	青少年が明るく元気に、のびのびと成長できるようにする。

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>1. 青少年問題協議会 幹事会を1回、協議会を1回 開催した。</p> <p>2. 岡谷市子ども会育成連絡協議会 研修部 リーダーズ倶楽部活動 部員 中学1年生から高校3年生 61人 内容 リーダーズ倶楽部員が行事運営を通じ、学校や年齢の異なる参加者（小・中学生）を指導したり、</p> <p>共同生活する中で、倶楽部員自身も成長することを目的にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会、研修会 ・ 野外体験活動の企画、運営 ・ 県外研修 ・ 新スタッフ加入説明会 ・ 塩嶺野外活動センター清掃奉仕活動 ・ 夏休み子ども交流事業への協力参加 ・ クリスマス会の企画、運営 		
前年度の課題への対応	特になし	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 活動指標（指標名）				単位	回
	実績値	9	9	9	
	*指標の説明	リーダーズ倶楽部関係事業の実施回数			
② 成果指標（指標名）				単位	人
	目標値	700	700	700	700
	実績値	655	650	650	
	達成度	93.6%	92.9%	92.9%	
	*指標の説明	リーダーズ倶楽部関係事業の参加者数			
*目標値の設定方法の説明	前年度の実績に基づいて設定				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	1,395,060	1,358,236	1,770,053	2,611,000
経常経費	1,395,060	1,358,236	1,770,053	2,611,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	12,000,000	9,200,000	9,200,000	9,200,000
正規職員の人数(人)	1.50	1.15	1.15	1.15
③ 合計コスト(①+②)	13,395,060	10,558,236	10,970,053	11,811,000
前年度比		78.8%	103.9%	107.7%
財源	13,395,060	10,558,236	10,970,053	11,811,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	1,488,340	1,173,137	1,218,895	
前年度比		78.8%	103.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
県子ども会育成連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	63,250	63,190	62,500	63,000
輝け岡谷っ子GOGOチャレンジ事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	355,135	479,453	529,790	539,000
夏休み子ども交流事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	550,014	434,864	660,126	650,000
リーダーズ倶楽部活動事業負担金	件数	1	1	1	1
	金額	237,963	235,123	343,792	358,000
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	1,206,362	1,212,630	1,596,208	1,610,000
	割合	86.47%	89.28%	90.18%	61.66%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 100.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 92.9%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 改選年度にあたる。青少年問題協議会の存在意義について、長年議論がある。	
	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 国の方針に基づき、時代にあった意義あるものにできるか検討する。	
改 善 方 法		
	改善開始時期	2019年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---